



# 地本NEWS

2015年  
7月13日  
自治労北海道  
網走地方本部  
2015第12号

## 6月27日組織集會特集号

### 分科会報告

#### 人事評価制度に対する取り組みについて

人事評価制度に関する分科会では、地方公務員法（地公法）改正により導入・実施が来春に迫った「人事評価制度」について、改めて学習するとともに、既に導入されている単組の実態に学び、今後の取り組みにつなげることにしました。

道本部の佐々木組織部次長からは、これまでの経過や「勤務評定」と「人事評価制度」の違い、「処遇管理型」と「人材育成型」の違いなどが話され、評価制度の導入にあたっては、制度設計段階から労使協議が必要であることや昇給・一時金への反映のデメリットなどを確認しました。



単組報告では、大空町職から09年度から実施されている「人事考課」について、5段階評価によりS（8号俸）～D（0号俸）の評価がされ、結果は昇給に反映されていることが報告され、問題点としては、部署による差はないのか、統一した評価がされているのか、人事異動と評価期間のずれや、評価の視点が定まらないなどがあげられました。

また、一方で、総務省が技術的助言と称して通知している「相対評価」ではなく、「絶対評価」となっており、給与原資確保のため故意にマイナス評価者をつくるということはない状況になっているとの報告がされました。

参加した単組からは、「業者委託により制度設計が進みはじめた」「近隣町村の動きから業者委託はしないが、独自のアンケートを実施する予定」などの発言もあり、まだまだ当局の動きが遅く、具体的な協議となっていない単組が多い状況が見える結果となりました。

しかしながら、地公法との関係から、急に当局が動き出すことも想定されることから、労組側の体制をしっかりとつくるために、今の賃金制度や内容について学習や討論をしていく必要があります。

#### 比例代表候補予定者

### 「えさき たかし」の推薦を決定!!

つながろう。

ともに声を上げ、

明るい未来を

咲かせよう。



網走地方本部は、6月27日に開催した第5回単組総支部代表者会議において、参議院議員選挙比例代表候補予定者「えさき たかし」の推薦を決定するとともに、当面する取り組みについて確認しました。

第24回参議院議員選挙闘争は、自治労組織内「えさき たかし」を擁立することで、地方分権や地方財政確立のための政策実現をはかるとともに、安倍政権の暴走に歯止めをかける、自治労の組織力を示すためにも、絶対に負けることが許されないたかしくなります。

各単組総支部においては、早期の闘争体制の確立にむけて組織内「えさき たかし」の推薦決定と、組合員への浸透をはかる取り組みを進めましょう。

候補者名	江崎 孝 (えさき たかし)	
生年月日	1956年8月11日生まれ 58歳	
出身地	福岡県柳川市(旧三橋町)出身	
略歴	1975年	福岡県立伝習館高等学校卒業
	1979年	法政大学社会学部卒業後 旧三橋町役場入職(現柳川市)。広報・社会体育・同和教育・企画などを歴任
	1991年	三橋町職労書記長
	1996年	自治労福岡県本部 専従執行委員
	2002年	自治労福岡県本部 書記次長
	2004年	自治労福岡県本部 書記長
	2007年	自治労中央本部 労働局長
2009年	自治労中央本部 特別執行委員(公務員制度改革担当)	
2010年	第22回参議院議員選挙で初当選	
現在、総務委員会、決算委員会、地方・消費者問題に関する特別委員会筆頭理事、国民生活のためにデフレ脱却及び財政再建等に関する調査会		